

EXsite Column 広島で活躍する海外の方をご紹介します!

Hello! 広島

パリ・ステファン《ドイツ》



で。半年間の留学後、2006年に再来日してから現在までずっと広島に住んでいます。

■ドイツと日本の違い

日本人とドイツ人は似ているとよく言われるのですが、昔は確かに似ていたと思います。昔というのも100年も150年も前で、ドイツに王様がいた時代です。ナチスのプロパガンダの影響で、国に対する忠誠心や先輩後輩などの厳しい上下関係がしっかりとありましたが、現在はかなり減ったように思います。例えば、ドイツにはあまり制服が導入されていません。学校では学生服は着ず、社会人もスーツを着ません。制服を着ているのは警察くらいでしょう。ただ、現在ドイツ政府の中では、私服

■広島に来たきっかけ

2001年に、ハノーバー大学と広島市立大学の交換留学生として初めて来日しました。交換留学ではフランスやベルギーにも行けたのですが、日本は距離的にも遠い面白そうだったので

EXsite Column

広島在住の作家が綴るものづくりへの思い。

ひろしまの、手しごと。

レースワークスジュエリー



様子に心惹かれ、自分でも作りたいと思いました。しかし、技術を学べる場所がなく、独学で学ぶしかありませんでした。試行錯誤を繰り返しながら作品を作るうちに現在のジュエリーの形になりました。

制作で大切にしているのは曲線の「流れ」で、動きを止めないデザインです。

大学卒業後、アメリカに15年住みました。手先を使った細かい作業が得意だったので、金工作家になろうとジュエリーのお店に弟子入りして、彫金師の元で6年間働きました。

仕事でアンティークジュエリーを目にする事が多く、昔の職人の精緻な技に魅了されていきました。アンティークジュエリーの中でも私の目を引いたのが、フィリグリー(線細工)という極細の貴金属線で模様を作る金細工です。仕入れて訪れたジェムフェアで、実際に制作している様子を目の当たりにしました。レースのように繊細なデザインを少しずつ作り上げる

蝶が空を飛ぶ様子など、万物の動きから多くのインスピレーションを受けて制作しています。帰国して2年になりますが、現在は県内外のデパートに出展したり、オーダーを受けて受注制作したりしています。今後はジュエリー以外の作品にも挑戦してみたいです。

ウェブショップ>>> <http://www.laceworksjewelry.com>

山田寿子(やまだ ひさこ)

広島県出身。25歳で渡米。オレゴン州ポートランドで彫金を学ぶ。2013年、Laceworks Jewelryを設立。2014年、ヴィクトリア・ランスフォードからArtist of the Monthを受賞。



は貧乏と富豪の差がはっきり分かってしまうためイジメの原因になるとして制服の導入も検討しているそうです。

■広島での活動

フリーランスで英語とドイツ語の講師をしながら、作家活動もしています。年に1回の「チャリティーフェスティバル」では作品の展示販売を行っており、その売上を100%義援金として被災者の方々に届ける活動を行っています。当イベントの主催である広島独日交流会は2011年にわたしが設立しました。この会は、広島に住んでいるドイツ人とドイツ語を話せる人たちで集まって飲んだり食べたりしながらドイツ語を話すという会です。12月には今年で3回目となる「ひろしまドイツクリスマスマーケット」も開催する予定です。これからも広島が豊かになるようなイベントを続けていきたいです。

パリ・ステファン

ドイツのヴュルツブルク出身。2001年来日。2006年から現在まで広島在住。英語とドイツ語の講師をしながら、作家活動やイベントの企画を行っている。2018年4月には横川でチャリティーフェスティバルを開催予定。

<http://www.yokogawa-art.org/japanese.html>

「ひろしまドイツクリスマスマーケット」

ドイツの定番クリスマスメニューのホットワインやシュトーレン、素敵なクリスマス雑貨などを販売します。

日時:2017年12月15日(金)・16日(土)・17日(日) 12:00~20:30(最終日19:00まで) 場所:中区上八丁掘「アーバンビューグランドタワー」東側公開空地

Event Schedule /December

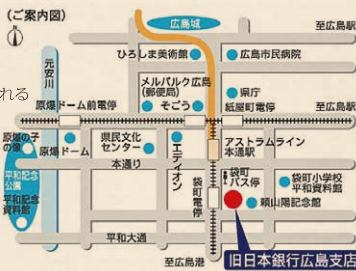
旧日銀広島支店 12月のスケジュール

- 開催** 被爆70周年 広島平和記念資料館収蔵資料展
-原爆の絵・被爆資料・新収集写真-
開催期間 開催中~2018年7月(予定)
開催時間 10時~17時
開催場所 地階
- 開催 12/6** 広島職人博覧会
開催期間 11月27日(月)~12月6日(水)
開催時間 10時~17時
(11月27日は13時から、12月1日~3日は10時~19時)
開催場所 1階
- 12/10** Psフェスタ2017
開催期間 12月10日(日)
開催時間 13時30分~17時
開催場所 地階、1階
- 12/11 14** 組合員による組合員の創作・作品展
開催期間 12月11日(月)~14日(木)
開催時間 10時~17時(11日は13時から、14日は15時まで)
開催場所 1階
- 12/16 21** 広島アートスポット Vol.9 つちのなかゆうびんきょく
Fanny Harlan 板井三那子「土中郵便局」
開催期間 12月16日(土)~21日(木)
開催時間 10時~17時
参加アーティスト Fanny Harlan、板井三那子
開催場所 1階
- 12/23 27** 在日本朝鮮学生美術展覧会
開催期間 12月23日(土)~27日(水)
開催時間 10時~19時
開催場所 地階
- 第三回** へいわこども展(国際平和・友好絵画展)
開催期間 12月23日(土)~27日(水)
開催時間 10時~19時
開催場所 1階

旧日本銀行広島支店

〈入館案内〉
開館時間:10:00~17:00(催し物が開催される日には閉館時間を延長する場合があります。)
休館日:12月29日から1月3日
入場料:無料
2階の資料室では、旧日本銀行広島支店の被爆資料などを展示しています。是非ともお越しください。

〈交通案内〉
市内電車:広島駅から宇品行(1番線)で袋町電停下車徒歩1分
市内バス:広島駅から市役所方面行、袋町バス停下車徒歩1分
アストラムライン:本通駅下車、徒歩3分
※駐車場はありません。近隣の一般駐車場をご利用ください。



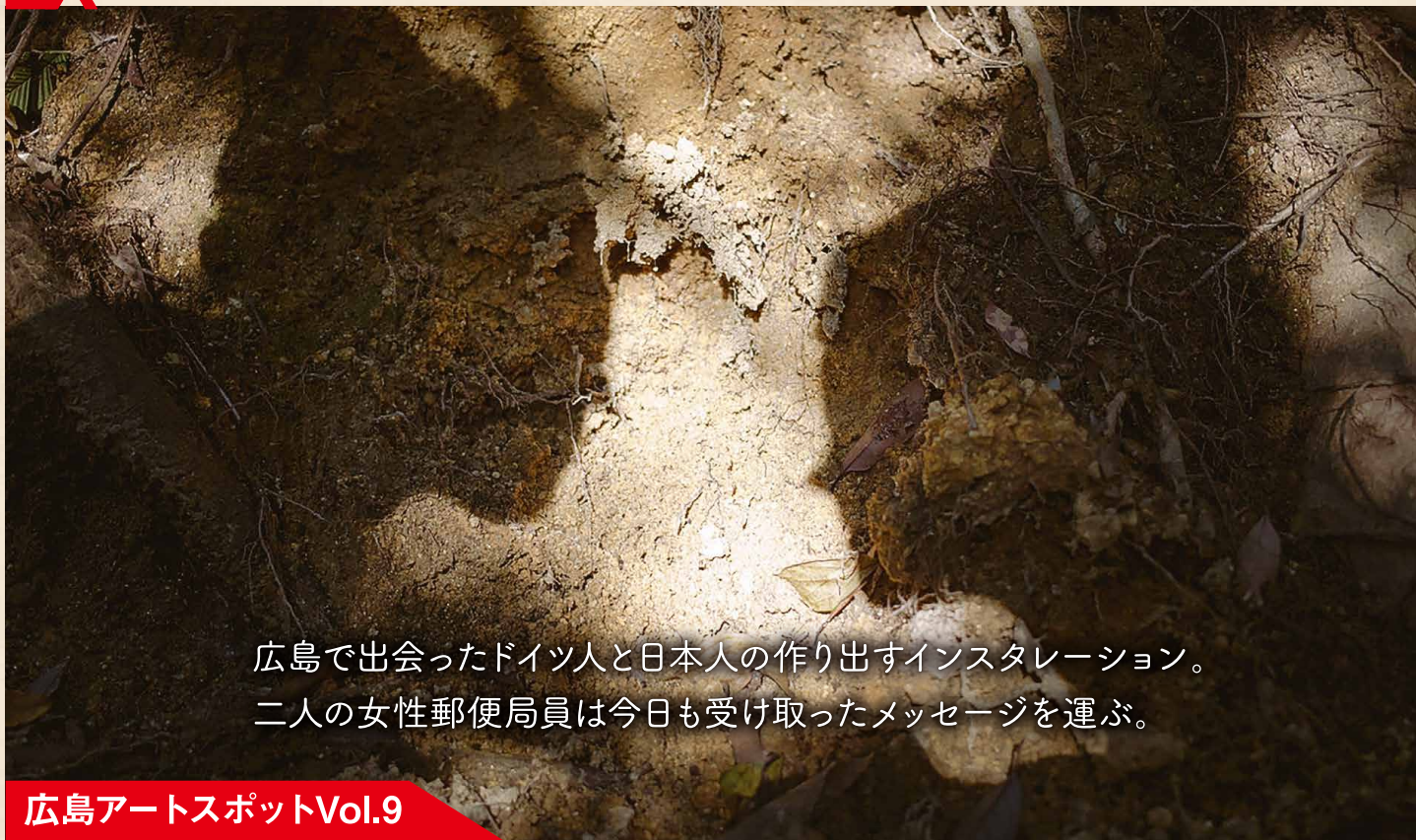
TAKE FREE ¥0-

Hiroshima EXsite

December 2017 VOL.33

EXpression, EXpansion, EXperience... 広島をアート/デザイン力で EXする、そんな場 (site) を旧日銀広島支店に探るフリーペーパーです。

EX Art Interview 12月はドイツ人と日本人のコラボレーションアート。



広島で出会ったドイツ人と日本人の作り出すインスタレーション。二人の女性郵便局員は今日も受け取ったメッセージを運ぶ。

広島アートスポットVol.9

ファニー・ハーラン 板井三那子 「土中郵便局」

12・16(土)~21(木) 10:00-17:00

@旧日本銀行広島支店

12・16(土) 15:00- ガラリートーク開催

広島にゆかりのあるアーティストにスポットをあてる「広島アートスポット」第9弾では、ドイツ人のファニー・ハーランさんと日本人の板井三那子さんによる展覧会「土中郵便局(つちのなかゆうびんきょく)」を開催します。今回のインタビューには本展のプロデュースを行う中山なぎさんにも参加してもらい、3人の出会いや作品コンセプトについてお聞きしました。【中面に続く】

EXsite Information 広島アートスポットとは?



旧日本銀行広島支店でアート&カルチャーに触れていただくため、「広島アートスポット」と銘打ち、広島にゆかりのあるさまざまな分野のアーティストの作品展示を企画しています。今年度は、広島在住の外国人アーティスト、もしくは海外との交流を深く行う広島在住アーティストやグループを中心に、国際色豊かな目線で展覧会を開催します。

EX Art Interview 広島アートのVol.9 ファニー・ハーラン 板井三那子「土中郵便局」 12/16~21

中山なぎ (以下 中山) この秋に、2人を広島市内の居酒屋で邂逅*させちゃいました。*思いがけなく会うこと。めぐりあい。板井三那子 (以下 板井) 初めてファニーと話した時から、私たちの視点は違ふんですけど見ているものが同じだと感じました。私の親が地質調査の仕事をしているので私は小さい頃から地質学に興味がありました。地球や環境について私が知識に基づいた見方をするのに対して、ファニーはそれらを感覚的に捉えていると思います。ファニー・ハーラン (以下 ファニー) 自分の心の声を聞くのと同じように、地球や土の中の音が聞こえるんです。例えば「痛い」という声とか。板井 私の中には「地球と振動」というテーマがあります。

例えば一握りの土の中にも何万匹という微生物がいて、それらによって小さな振動がずっと起こっています。もっと大きく見れば地球の地面だって常に振動していて、生まれたり死んだりしながら永遠の波の中で私たちや地球は生きているんです。ファニー ミクロとマクロと両方の世界で実は同じことが起こっていて、結局それらは全て繋がっていると思います。板井 一方で、爆弾やマシン音など地球上にいる生物が感じるべきではない振動を人類が作り出してしまったという事実もあり、でもそれも地球の振動の一部なんですよ。地球は常に振動という表現をしているから、そのメッセージを受けて返すというリアクションを

起こしたいんです。ファニー 人々にとって地球の声に気づくきっかけとなること、その体験を通して一人ひとりが自分自身の声にも耳を傾けられるようになること、広島の人たちの声を聞くこと、この3点を今回の展示で私たちは意識しています。中山 日常の中で私たちが感じたことや意識していることを表現し、その表現を通して人々と交流することが今回の展示の目的の一つであり、この展示は私たちのプロジェクトの始まりです。板井 実は今回のように別の作家と一つの作品を制作するというのは初めてなんです。ファニー 私もそうです。板井 展示について3人でよく集会を開きますが、なぎさ

んは私とファニーがそれぞれ持っている想いをうまく言語化してくれる存在です。言わば私たちの通訳です。中山 今回のコンセプトを練るにあたって、私たちは地球と人類のどちらの立場に立つかということをしるべく考えました。そうして出した答えは、どちらでもなく間に立つということでした。私たちが受け取るメッセージを一方的に片方へ投げかけるのではなく、両者からきちんと返事も受け取り届けることが大事なんです。この展示は地球からのメッセージを人々へ届けるプロセスなので、今後はその逆もあり両方のリアクションを起こし続けたいと考えています。その間、常に2人は郵便局員なのです。



参加アーティスト ファニー・ハーラン (Fanny Harlan) ドイツ出身。ハノーバー専科大学写真報道学を専攻。2015年から一年間、交換留学生として広島市立大学芸術学部にて在籍。広島県内にて写真家・キュレーターとして活動の幅を広げている。

板井三那子 (Minako Itai) 福岡県出身。広島市立大学芸術学研究科造形芸術専攻。2014~2016年まで広島市安佐南区にて通称『竹プロ』を企画・運営・制作する。第27期国際滝富士美術賞優秀賞受賞、RICOH C7100S Hackathon 2017グランプリ受賞。



プロデュース 中山なぎ (Nagi Nakayama) 広島県出身。アメリカ・イリノイ州シカゴ、Columbia College Chicago のアートマネジメント学部卒業。2014年、銀座一穂堂ギャラリーにて就職。2015年より広島国際映画祭事務局にて運営を担う。

EX Art of the Month!



「ブータン しかわせに生きるためのヒント」 開催中~12月24日(日) 9:00-17:00 ※入場は閉館の30分前まで ※金曜日は19時まで ※会期中無休 広島県立美術館 (広島市中区上樺町2-22) tel.082-221-6246 http://www.hpam.jp/

展示会のキャッチコピー「見るだけでしかわせになれるかも」。そんなこと言われたら見に行くしかないでしょう! 「ブータン しかわせに生きるためのヒント」が広島県立美術館で開催されています。入口ではブータンの寺院ではおなじみの「マニ車」が出迎えてくれます。一回まわすとお経をたくさん読むのと同じ功德が得られるのだとか。さっそく「しかわせ」をゲット(笑)。中にはお面、テキスタイル、仏像、仏画など、ブータンの文化・生活・信仰を彩る作品がずらり並んでいます。衣装や布地の色、模様の美しさ、それを作りあげる工程に驚き、同じ仏教国ながらブータンの人々の信仰の深さに感動を覚えました。その間もずっと「しかわせ」というキーワードを探し、「しかわせとは何か?」と自問自答しながら展示会を見ていました。展示会のテーマと向き合いながら作品を楽しむというのはなかなか新鮮な体験でした。ブータンへプチ旅行する気分を訪れてみてはいかが? (キクイヒロシ)



EX Architecture in Hiroshima Vol. 33 広島建築遺産

アストラムライン新白鳥駅 広島市中区・2015年・CA(小嶋一浩+赤松佳珠子)



駅は多くの人々が日常的に使う重要な施設だ。なのになぜか日本の駅舎は貧相なものが多い。そんな中で、きちんとコンペで建築家を選びユニークな形を実現させたアストラムライン新白鳥駅は異色の存在だ。建築家は空間デザインは得意だが、トンネルや高架橋の設計はできないし、鉄道関係の法規や構造にも明るくない。かといって土木技術者に全部任せると野暮な仕上がりになってしまう。つまり良い駅舎を作るには建築と土木の連携が欠かせない。本作では土スケールの構造物から人が触れるディテールまで丁寧にデザインされており、協業はうまくいったようだ。施設の構成はシンプルで、道路の中央分離帯に穴を掘ってホームを作り、放物線を描いた鋼板の大屋根を載せている。屋根には大小の丸窓が開けられ、外光を取り込むととも

に独特な外観を形作る。地下駅だが天井は高く、しかも天井・壁とも白く塗られ、閉鎖的な印象はない。夜景もなかなか魅力的だ。アストラムラインのデザインは新交通システムとして日本一だと思うが、本作によってさらにレベルが上がったのは誇らしいことだ。残念なところもある。実は当初案では大屋根が山陽線の手前まで伸びる予定だったが、コストなどの事情により途中で切れてしまった。その結果、歩道橋下の空間はパブリックスペースとは呼べない単なる通路になってしまい、造形としても不自然だ。いつの日か当初案に戻せないだろうかと思う。

profile 高田 真 (たかた・まこと) 1978年広島生まれ、東京在住の都市プランナー、アーキテクト、広島代表。 アーキテクト広島Web Site http://www.ao-hiroshima.org

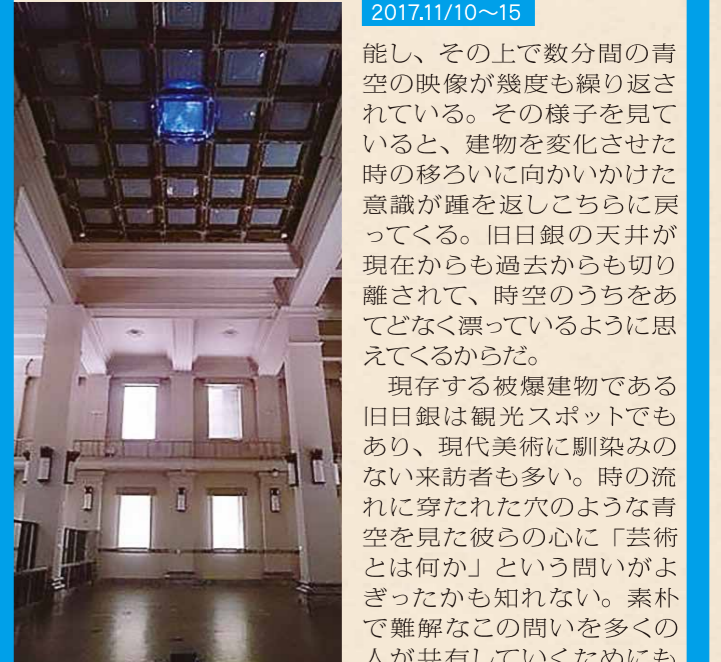
EX Spot for Next Generation

ボードレスアートスペースHAPふじみ 広島市中区富士見町15-1

「アーティストによるワークショップ2months 8weeks」を富士見町で開催しています。放課後等児童デイサービス事業でアトリエとして使用していた場所を活用し、10月中旬より2ヶ月間毎日朝・昼・夜の3枠、ハーバリウムや鹿草コインケース、アクセサリ作りなどバラエティに富んだワークショップを行っています。残り1週間となるワークショップは占星術、スタンドグラス



EX Site Report 旧日銀 広島アートスポットレポ 岡崎 歩「アグリッパの眼」



能し、その上で数分間の青空の映像が幾度も繰り返されている。その様子を見ると、建物を変化させた時の移ろいに向かいかけた意識が踵を返しこちらに戻ってくる。旧日銀の天井が現在からも過去からも切り離されて、時空のうちをあてどなく漂っているように思えてくるからだ。現存する被爆建物である旧日銀は観光スポットでもあり、現代美術に馴染みのない来訪者も多い。時の流れに穿たれた穴のような青空を見た彼らの心に「芸術とは何か」という問いがよぎったかも知れない。素朴で難解なこの問いを多くの人が共有していくためにも『Cos' èl Arte? (芸術ってなに?)』をタイトルに冠する岡崎主導の日伊合同プロジェクトの次回展示が待たれる。(ギャラリー G・山本美咲)